

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 大原苑

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 12 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議には元の肩書がついた委員が多く、長い付き合いの中で、人間関係が構築されているが、会議の内容が画一化し、地域との関係も少しずつ参加者中心になっているので、参加委員を増員し、ホームの運営に反映される会議になるように検討していく。	参加委員を地域で活躍している有識者や、知見者、複数の民生委員、薬剤師等から募り、会議がホームの繁栄だけではなく、地域の活性化や高齢者の暮らしを守る会議として、参加委員にとっても、意義のある充実した会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	運営推進会議を中心に参加委員の協力で地域との付き合いを行っているが、行事や祭りの交流が主流で、日常的な交流を今後の課題として取り組み、そのためのホーム内の体制を整えていく。	ホームの交流室を地域に開放し、認知症カフェを行政や、民生委員の協力を得て立ち上げ、ホームに地域の方が集まり、認知症についての啓発活動に組み込み、将来は、徘徊模擬訓練の拠点として、実施していくことを検討していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。